



ご挨拶

今年の日本は「西日本豪雨」「北海道地震」そして師走に入って大分や福岡での夏日の記録等々、自然の猛威に翻弄されましたが、ここ群馬ではなんとか無事に一年が通り過ぎようとしています。

校友会活動も、皆様のご支援のお蔭でほぼ計画通りに行うことができ、心から感謝を申し上げます。

来年は、平成から新年号に変わります。また、世界経済に影響を及ぼす米中貿易摩擦が続く懸念がありますが、くる年が校友の皆様にとり、幸多き年となりますようお祈りします。

国家にとって重要なのは『一国の良心ともいべき人物である』と『同志社大学設立の旨意』で訴えて設立された母校同志社大学は、多くの人材を輩出して140数年たった現在、大学を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

18歳人口が減り大学間競争が激しくなっている中、母校は将来にわたって広く優秀な学生を確保し、特色ある教育を更に推し進めることを目的とした「同志社大学VISION2025」を掲げました。同志社大学創立150周年を迎える2025年までに実現するため、校友会は「同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金」に賛同しています。

新島襄・ゆかりの地に住む校友の皆様には、特段のご厚志を賜るよう、切にお願い申し上げます。

群馬県支部 支部長 中山捷介

30年度支部総会

9月30日(日)12時半から「マリエール高崎」にて、「平成30年度総会・懇親会」を開催しました。生憎、台風24号の影響で交通機関の運行中止も予想されに、懇親会を30分短縮しての対応でした。

総会は中山支部長の挨拶、同志社大学濱副学長並びに校友会竹村理事のご祝辞の後、中山支部長による活動報告、続いて山崎会計幹事による会計報告と松本監査役の監査報告があり、無事に終了しました。

その後に講演会として共愛学園前橋国際大学名誉教授の宮崎俊弥氏を講師に招き、「近代群馬のキリスト教教育—共愛女学校第9代校長周再賜を中心に—」という演題での講演を行いました。

共愛学園も新島襄が発起人の1人で、多くの同志社出身者が校長を務めました。中でも第9代校長の周再賜は、台湾出身で同志社から米国の大学で勉強し、同志社大学神学部助教授を経て共愛学園の校長に37歳で就任し、40年間という長きに亘り務めたという方でした。

キリスト教主義をベースとする彼の教育観は、人格の完成・犠牲・自由・これらの表現としての形式・勤労の「5本柱」でありましたが、一方で生徒への生活指導はかなり厳しかったようです。

講演会に引き続き、佐藤麻美氏による「二胡の演奏会」を行いました。台風の影響により1人になりましたが、頑張って演奏して頂き、アンコールを含んだ全6曲のなんと中国情緒を思わせる音色に聞き入りました。

懇親会は、同志社大学濱副学長や校友会竹村理事はじめ近隣校友会支部代表の方々、加えて新島学園の湯浅理事長と同窓会の玉村会長等々のご来賓をお迎えし、校友会・同窓会会員合わせて総勢63名の参加となりました。

中山支部長の挨拶に始まり、濱副学長からのご祝辞や玉村会長のご挨拶を頂き、小栗幹事の祈祷の後、湯浅理事長による乾杯の音頭で宴会がスタートしました。

今回から参加の校友連携コーディネーターの小野寺氏(群馬県出身)のお話を伺い、校友連携コーディネーターは、校友と大学側との懸け橋となり、校友の要望等を大学側に繋げてくれる役目を果たすとのことで、期待したいと思います

お開きとして、同窓会の豊泉支部長の挨拶があり、三輪幹事の先導で全員が肩を組み輪になり、カレッジソング斉唱と同志社チアを高唱し、高揚感のうちの平成最後の総会・懇親会は閉会となりました。



春の集い

3月3日(土)、校友会・同窓会44名の有志が「マリエール高崎」に集まり、恒例の『春の集い』を開催しました。

第1部として、角田幹事(S53卒)の紹介で、同志社大学OB(S51卒)の伊藤誠氏のコンサートを行いました。伊藤誠さんは第一勧銀に勤める傍らで音楽活動をされた、“同志社の小椋佳”とも言える方で小さいころから作曲をしていたそうですが、11年前に心筋梗塞で病に倒れましたが奇跡的に復帰してからは、いのちの大切さを感じ、今回も“いのちを歌う”とのサブタイトルでアンコールを含め全8曲を歌い挙げてくれました。

第2部として懇親会となりました。中山支部長の開会挨拶の後、代表として新島学園の岩間校長にも挨拶を頂き、飯降副支部長の乾杯音頭で会は和やかにスタートしました。第1部で歌を披露してくれた伊藤誠氏とそのマネージャーも参加された46名の会でした。中盤で、初参加の平成卒の1名の自己紹介がありました。お父様が校友会員で案内状を送付したのがきっかけで、息子さんも同志社OBで代理の参加ということでした。

支部長の提案で各テーブル毎の集合写真も撮りましたが、当日が桃の節句であったことから参加して頂いた女性全員の集合写真を撮ることになり、即席カメラマンが急に増えるといった不思議な現象も垣間見れました。

閉会の挨拶は恒例により同窓会の豊泉支部長にお願いしました。いつもの流暢で奥深いお話と共に、「来年の春の集いで再会したい!」との締め言葉にも感謝を申し上げたいと思います。

最後に三輪幹事(H06卒)の音頭で「カレッジソング」を合唱し「同志社チア一」で締め、来年もまた全員元気に顔を合わせることを約束しました。





平成卒交流会

2018年7月20日(金)、10名(男性8名、女性2名)の校友会員若手有志が、高崎モントレーの屋上に集合し、屋上ビアガーデンにて第7回『平成卒交流会』の暑気払いを行いました。

今回は、開催初の屋上ビアガーデン開催ということで当日の天気を終始心配しましたが、天候も問題なく、いつもの様にこじんまりとしたアットホームな会となりました。今回は、初参加の方が2名いらっしゃいましたが、すぐに他の参加者と打ち解け昔話に花が咲き、無事お開きとなりました。

2018年11月30日(金)、6名(男性5名、女性1名)の校友会員若手有志が、高崎の「しんたろう」に集合し、第8回『平成卒交流会』の忘年会を行いました。

今回は、忘年会シーズンということで、少数精鋭になってしまいましたが、参加者で一緒に鍋をつつきながら各々の近況報告を行いました。この会の中で、次回のイベントの話になり、5/11(土)「鳥山牧場バスツアー」の開催が決まりました。

引き続き校友会の平成卒の方で定期的に親睦をはかっていきたいと思っておりますので、ご興味のある方がいらっしゃれば是非事務局までお声掛け下さい。



新島研究会 岡山旅行

今年の旅行は、新島先生が初航海した玉島(倉敷)と、1880年2月に説教に出向いた岡山県高梁市に、初めて二泊三日の日程で行いました。参加者は同窓会メンバーを含めて、今迄で最多の14名となりました。

6月3日の初日は、新幹線の岡山駅から玉島に直行し「新島襄先生玉島港上陸の碑」を確認し、その後倉敷にて「大原美術館」「倉敷美観地区」を見学し、岡山駅近くの「三井ガーデンホテル」に宿泊しました。

翌日はホテルからマイクロバスで「備中松山城」を見学しました。「備中松山藩」は安中藩の本家筋にあたり、函館から密出国する前の年に新島先生はこの藩の所有である「快風丸」で三か月間、江戸湾から玉島まで往復航海しました。県内最古の「高梁教会」では同志社出身の八木橋康広牧師の講演を聞いた後、牧師自らの案内で町中を散策し、その夜は、同伴の知人の店で親睦会を開きました。

最終日は「岡山教会」でも我が校出身の大塚忍牧師の話の拝聴し、新島先生のキリスト教に対する思いを改めて感じる事ができました。自由時間を利用して、岡山後楽園、岡山城を見てホテルに戻り、帰路に着きました。



同志社校友会群馬県支部親睦ゴルフ

東毛地区から7名(川野・山岸・梅田・奥村・井植・森川・飯降)と、西毛地区から5名(小泉・入江・三輪・真下・中山)の計12名の精鋭!が参加し、5月14日(月)関越ハイランドゴルフクラブで、親睦ゴルフを行いました。

当日は晴天に恵まれ、新緑に包まれた絶好のコンディションの下、持ち前の技量を遺憾なく発揮?して楽しくプレイができました。

結果は、優勝:奥村裕氏 2位:梅田勉氏 3位:川野正文氏と上位3人は東毛地区ということでした。

参加者全員がもれなく賞品を手にしてゴルフ場を後にしました。来年も、多くの参加を期待しています。



2019年計画案

来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。

行事内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記事
春の集い			○										
ゴルフ					○					○			
平成卒交流会					○			○					
ハイキング											○		
旅行						○							
総会・懇親会										○			

群馬県支部「春の集い」の開催について(予告)

2019年3月9日(土) 午後2時から「マリエール高崎」において「春の集い」が開かれます。

前橋教会の川上盾氏+3名による「ジャズコンサート」を予定していますので、お楽しみに!

校友のご参加、お待ちしております。

詳細のご案内は、後日改めて差し上げます。



総会・懇親会出席のお願い

同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。

2019年10月6日(日) 予定
(マリエール高崎) 予定